萩情情第　　５１８号
令和７年１０月２９日

総務大臣　　林　芳正　　殿

萩市長
田中　文夫

事後評価報告書（再評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．事業概要
(1) 工事完了日　　：令和３年６月１０日
(2) サービス開始日：令和３年７月１日

２．目標達成状況（累計）

指　標	目標 （目標年度）	（実績値/目標値）			
		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度 （９月末時点）
家庭用 Wifi の設置数	27 台 （令和４年度）	13 台	13 台	13 台	13 台
	（　　）				
	（　　）				

※欄が不足する場合は適宜追加

（参考）

提供可能回線数	利用回線数			
	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
63回線	13台	13台	13台	13台

３．目標達成に向けて実施した取組

目標達成に向けた加入促進については、サービス提供開始当初より継続的に実施している。初期の段階から、市ホームページでの継続的な情報発信を核として、段階的な周知活動を行ってきた。

具体的には、パンフレットやチラシ等の媒体を用いた全島民への集中的な情報提供を複数回にわたり実施するなど、継続的な啓発活動を通じて、島民の関心を高め、加入促進に努めている。

４．評価

利用促進に向けた継続的な啓発活動を実施し新規設置はあったものの、若年者の島外転居による廃止により、家庭用 Wi-Fi の設置数は、サービス開始当初と同数の 13 台で推移しており目標達成に至っていない。

利用者が伸び悩んでいる主な要因としては、島民の大多数が高齢者であることに起因するインターネット利用への心理的な抵抗感や理解度の課題、及び島内の小中学校休校に伴う若年層（教職員等）の島外への転居という構造的な背景が引き続き影響していると考えられる。

学校再開の際は配置される教職員の加入により Wi-Fi 設置数に一定の増が見込めるものの、当面は萩市が島の人口維持と活性化のため実施する定住支援施策や移住促進施策と連携し、既に設置されている「お試し暮らし住宅」や「空き家バンク」登録家屋に係る問合せ時に高度無線環境が利用可能であることをインセンティブとして活用し、定住・移住の増、延いては Wi-Fi 設置数の増に努めたい。

また、当該地区は市内でも高齢化の進行が著しく後期高齢者のみ世帯の支援が喫緊の課題となっていることから、社会福祉事業者等と連携し、他地域において実績のある高齢者見守りサービスにおける高度無線環境の活用を推進していく必要がある。他地域において一人暮らし高齢者等の見守りを目的としたインターネット接続サービスの利用が年間数件あり、相島地区においても一定の需要があると思われる。

継続的な情報発信や、島内集会所等での説明会や講座等の啓発活動を行った結果、この 1 年間で家庭用 Wi-Fi の利用に関する見積依頼や問い合わせをいただく機会は増加した。これは、島民のインターネット利用への関心や意欲が一定程度高まってきていることの表れと考えられる。しかしながら、問い合わせが具体的な利用に結びついていないことから、申し込み手続きや初期設定に対する不安など、利用の最終的なハードルを解消する新たな対応が必要であると認識している。

今後は、より一層高齢者層が抱える心理的な抵抗感や理解度の課題を解消するため、パンフレットや説明会において、家庭用 Wi-Fi を使い住み慣れた自宅に生活しながら遠方の家族とコミュニケーションをとることや、日々の生活の見守り支援といった、同世代にとって身近で実用性の高い活用例を具体的に周知する。これによりサービスの必要性に対する深い理解を促し、高齢者対応と移住推進の両輪で、設置数の増加を目指していく。